(1面)			成25	年度事務	§事業評価	ゴシート			平成	25 年	6 月	18 [	1 作成	
事務事業	□サービス部	<i>⊼</i> 1\ <i>₹</i> 2	<u>¥</u> −16	6 受託設計·工事監理事業										
No./名 称	口支 援 部	門門	<u> </u>	<u> </u>										
主管課	道路課			関連課										
分野名	道路整備													
目標 (目標値)	道路·河川·	下水道队	関連施	設以外の	公共工事	に係る事務	効率の向上』	及び経	費削減					
人口等の	データ区分		24年	.度		23年度			22年度			備考		
データ	人。口		177,22			177,204人			77,161人		•各年4月1日			
	世帯数 事業の対象者数	7:	9,6691	世帯	79,217世帯			78	,812世帯	<del>5</del>	(住民	基本台帳	)	
運営資源	争来の対象有数 決算値(千円)		0	<u> </u>		0			0					
状 況	(国・県)													
	(負担金等)													
	(一般財源) 人員配置数		2.0			2.0		0 1.0						
	人 件 費(千円)	2.0 16,708					8.689							
	協働の	13,700			17,849									
	パートナー													
事務事業運営経費	総事業費(千円) 市民1人当		16,70	08	17,849			8,689						
	りの経費(円)	94				101			49					
	対象者1人													
	当りの経費(円)													
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体 や民間団体と														
の比較値)					1									
指	<u> </u>	評価		年度	21年度	22:	年度	23年	度	24:	年度	最終:	年度(27年度)	
受託設計・工事監率			E	目標値										
<u>半</u> ◎目標を達成 〇目ホ △構ばい ×後退		0	美	<b>三</b> 毛績値										
△横はい ×後返 評価のポイント														
丁川ツハコント	①効率性	車業弗ム	1. 从 弗	に削減余地	1++21 >+>		②亞里姆	事業の	目的と政策	策·施策体系	系の目標	とが整合し	ているか。法的	
評価の視点	① 刈辛注								な根拠や公的関与の妥当性			か。		
	場合影響	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。 ・ 登益機会が偏っていないか。							。受益者	負担は公平	・公正か。			
中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)														
小事業名		H24決算	草値	評価	適切=〇、	要改善=△(評	価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・ D: 統合網			:改善・見直し	
受託設計・工事監理事業			(	①効率性(	②妥当性	〇 ③有効性	〇 ④公平性 (	) ⇒	□A	□В	■C	□D	□E	
		事業の概	既要	——— 道路·河川· <sup>-</sup>	下水道関連施	 記設以外の公共	<b>共工事に係る事</b> を		)向上、経	世の削減を	 図る。			
			(	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□с	□D	□E	

小事業名	H24決算値	評価	適切=〇、	要改善=△(評価	面の視点を参照)	⇒	方向性		፪•拡大 B:ξ 6縮小 E:廃		∷改善・見直し
		①効率性	〇 ②妥当性	○ ③有効性(	○ ④公平性 C	) ⇒	□A	□В	■C	□D	□E
受託設計·工事監理事業	事業の概要	道路·河川	·下水道関連旅	記以外の公共.	工事に係る事務	効率の	向上、経	費の削減	を図る。		
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□А	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										

## 事務事業の課題及び取組状況

ず効す木の深度及び収値化が									
H24年度の課題	委任工事については、委任課に工事の専門的知識がないため、その打合せや調整に多くの時間を要する。 また、委任工事の実施時期や次年度の概算要求に係る積算業務が同じ時期に集中するため、十分な対応が困難である。								
課題解決のための取組	業務の円滑化には委任課の協力が不可欠であるため、委任課に対して積極的な働きかけを行った。	取組の結果	□解 決 ■未解決						
未解決の課題	道路業務に携わりながら、他部署の技術的な相談及び概算見積りなどの業務を行っているため、十分な対応が図れ	ない。							

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=〇	①効率性	0		A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃	Ē止·休止	※□事業完了
	要改善=△(評価の視点を参照)	②妥当性	0	今後の 方向性	平成17年度から、鎌倉駅及び大船駅周辺地区での都市再生整備事業を展開するとともに、他部署からの委任工事として腰越漁港整備工事などの大型プロジェクトを展開していることから道路事業に支障をきたさないよう、専門部署の創設、委任部署の事業に対する意識改革、外注システムの確立などの検討をする。	1	課長等名
		③有効性	0			С	道路課担当課長
		④公平性	0				大坪 隆

(2面) 個別事業の評価 (単位:千円)

(2回) 四別争		ザイムスコード	伊叫古娄夕	24年度予算	04年安边等点	(単位:十円) 評価→適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)					
小事業名			個別事業名	24年度予算	24年度決算値	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性		
受託設計·工事 監理事業	主な個別事業		受託設計業務及び工事監理業務								
	主な個別事業										
	主な個別事業										
	主な個別事業										
	主な個別事業										